

一般会計決算審査特別委員会から分担された部分を審査するため、令和4年9月15日に産業建設分科会を開催しました。

認定第1号 令和3年度総社市一般会計歳入歳出決算認定について

～結果～

次のような審査の結果、本分科会に分担された部分については、全員一致で認定すべきであると取りまとめることに決定

～質疑～

問：優良農業者表彰経費について、幅広くこういった人を育成していくことは、農業のこれから先のことを考えると一番大事だと思うが、対象者は一人しかいなかったのか。
答：いろいろな方から推薦は募ったが、令和3年度については対象者は一人だった。農家の生産意欲を高めるという意味でもこういった表彰は大切だと思うので、市としても今後も積極的に取り組んでいきたい。
問：農地利用集積推進事業の執行率が31.8%と低い。推進したが、これだけしかできなかったということか。
答：当初予算の際には、農地集積、集約化に取り組む地域に対する補助金を三百万円計上しており、原営農組合が対象となる予定であったが、この地区の中で集積、集約化の話がまとまらず、補助金を交付しなかったため、その分本事業の執行率が低くなっている。
問：総社イルミネーションは、市外の人々が来ている風景があまり見られず、観光客の誘致、観光PRに寄与しているのか疑問に感じるが、実施した成果や効果は把握しているのか。
答：コロナ禍の中、総社駅前、市役所通り、中央文化筋を華やかに彩ることで元気をもらったという声があり実施の意義はある。 毎年少しずつでも装飾箇所を増やし、今後も続けていきたい。
問：鬼城山ビジターセンターは自然保護の推進をされている方も多いが、維持管理等のための募金箱を設置してはどうか。
答：現在、鬼城山を含む遊歩道「総社ふるさと自然のみち」の希少な動植物を紹介したリーフレットが希望する方には有料で配布されており、自然教育の一助となっている。 今後、城内の文化財など自然教育以外でも、同じような仕組みを導入したいと考えている。
問：道路賠償責任保険料について、通常民間が入る保険だと無事故が継続したら保険料が下がったり、事故をすると保険料が上がったりするが、どうか。
答：道路賠償責任保険については、市道延長掛ける単価で額が決まるため、事故の有無によって額は変わらない。
問：舗装補修工事の執行率が58.5%というのは、低いように感じるがどうか。
答：長寿命化計画に沿って約二百kmの幹線を対象に行っていた事業であるが、令和3年度から市内全域を対象にするべく、別途委託費を計上したものの、その委託を執行するためのシステムが令和3年度内に導入できず、舗装補修できる箇所が限定された。

今年の10月には当該システムが導入できる予定なので、今年度以降は百分に近い執行率になる見込みである。

問：神在秦本線改良事業の、執行率が低い理由は何か。

答：道路の線形等の地元調整が整わなかったため、令和3年度内で完成を目指していたが、設計以降が進まず、繰り越すこととなったためである。